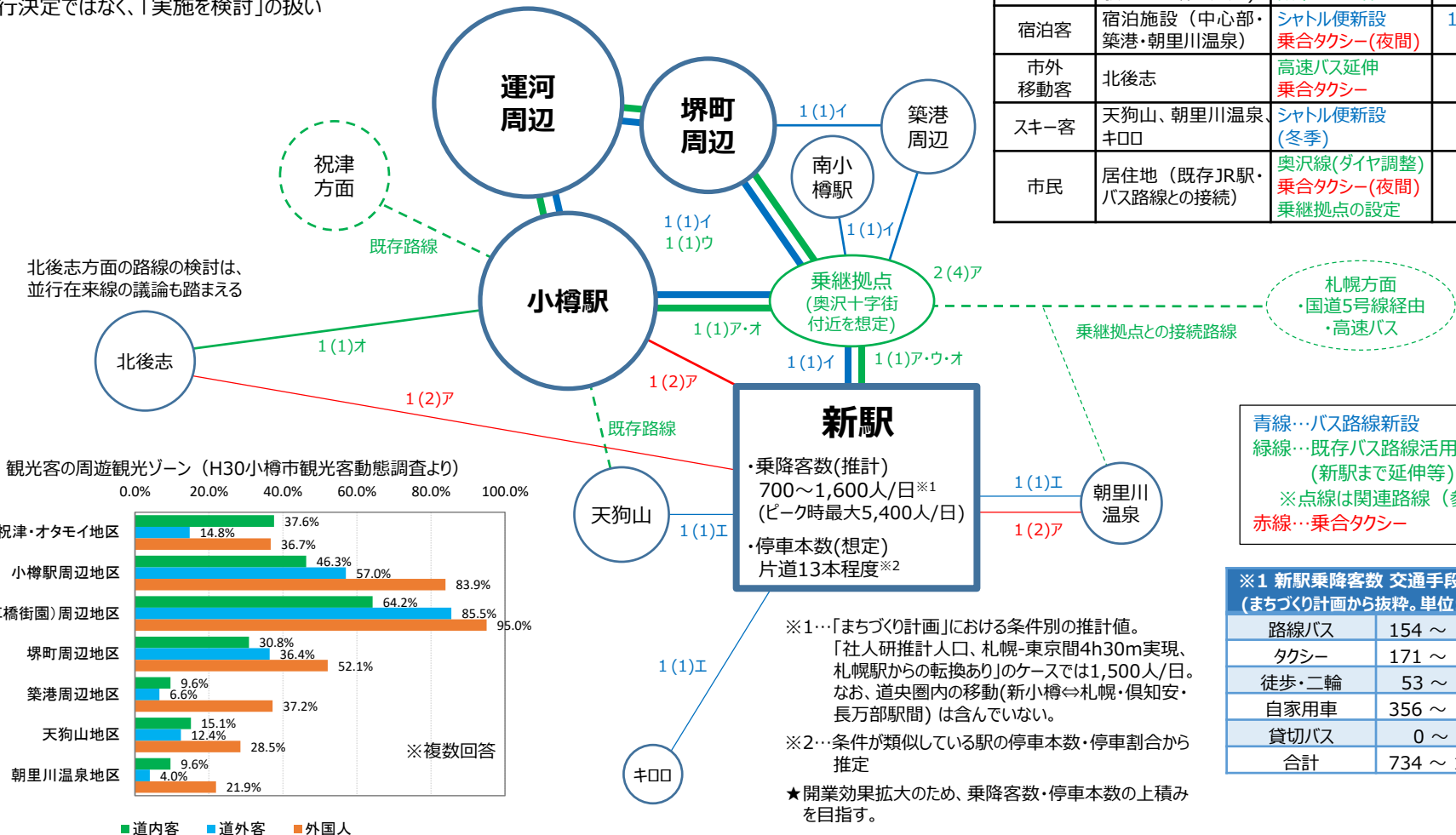


アクションプラン(たたき台)における 新駅からの2次交通路線

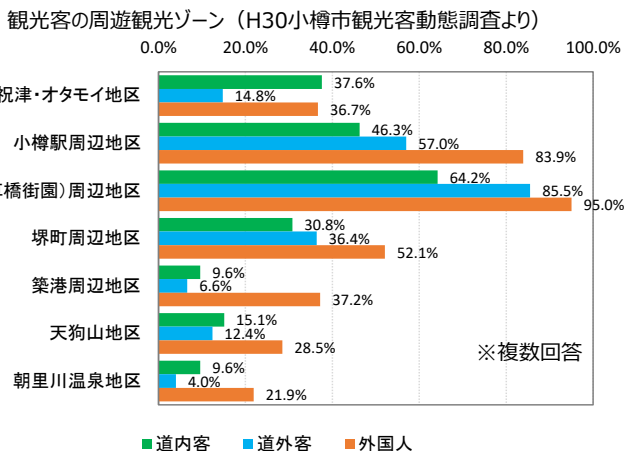
- アクションプラン(たたき台)に目的地・経由地を記載しているもののみ表示
- エリアの大きさ、路線の太さは、想定される利用規模を表したもの
- 運行決定ではなく、「実施を検討」の扱い

主な利用者	主な目的地	二次交通	取組案
日帰り客	中心観光ゾーン(小樽駅・運河・堺町周辺)	シャトル便新設 散策バス延伸	1(1)イ 1(1)ウ
宿泊客	宿泊施設(中心部・築港・朝里川温泉)	シャトル便新設 乗合タクシー(夜間)	1(1)イ、エ 1(2)ア
市外移動客	北後志	高速バス延伸 乗合タクシー	1(1)オ 1(2)ア
スキー客	天狗山、朝里川温泉、キロ	シャトル便新設(冬季)	1(1)エ
市民	居住地(既存JR駅・バス路線との接続)	奥沢線(ダイヤ調整) 乗合タクシー(夜間) 乗継拠点の設定	1(1)ア 1(2)ア 2(4)ア



北後志方面の路線の検討は、
並行在来線の議論も踏まえる

札幌方面
・国道5号線経由
・高速バス



新駅

- ・乗降客数(推計)
700~1,600人/日※1
(ピーク時最大5,400人/日)
- ・停車本数(想定)
片道13本程度※2

※1…「まちづくり計画」における条件別の推計値。
「社人研推計人口、札幌-東京間4h30m実現、札幌駅からの転換あり」のケースでは1,500人/日。
なお、道央圏内の移動(新小樽⇄札幌・倶知安・長万部駅間)は含んでいない。

※2…条件が類似している駅の停車本数・停車割合から推定

★開業効果拡大のため、乗降客数・停車本数の上積みを目指す。

青線…バス路線新設
緑線…既存バス路線活用
(新駅まで延伸等)
※点線は関連路線(参考)
赤線…乗合タクシー

※1 新駅乗降客数 交通手段別推計 (まちづくり計画から抜粋。単位:人/日)

交通手段	乗降客数
路線バス	154 ~ 236
タクシー	171 ~ 251
徒歩・二輪	53 ~ 73
自家用車	356 ~ 966
貸切バス	0 ~ 117
合計	734 ~ 1,643

- ◆新駅からは、小樽駅・運河・堺町周辺を中心に、多方面との移動ニーズが想定されるが、それぞれの利用者数はそれほど多くはないと予想される。
- ◆地域公共交通全体として、路線・便数の増は困難な状況
- ★二次交通の利便性は、新駅利用者の満足度、ひいては持続的な開業効果に大きく影響すると考えられる。
- ★観光の個人化・多様化に対応した滞在型観光地づくりのため、市内全域への分散化が必要(ソフト対策との連携)



アクションプランをベースに、持続可能で、利便性の高い2次交通網を構築できるよう、支援策も含め、開業までに詰めていく